

V. 健康福祉を支える地域づくり・人づくり      ～ともに支え合う社会をめざして～

課 題	施策の方向性	主要な取組
<div>1. 誰もが社会の一員として暮らせる社会づくり</div> <div>○年齢や性別、健康状態、職業、国籍等の異なる多様な誰もが、社会の構成員と感じられるためには、お互いの違いを認め合ったうえで、等しく一人の人間として尊重しあい、困難を抱えた人も包み込む視点が必要</div> <div>○ホームレス、ひきこもり、矯正施設退所者など生活に困難を抱える人に対してきめ細かな支援が必要</div> <div>○外国人の言語面・生活面からの支援も必要</div>	<div>(人権意識の高揚、ノーマライゼーションの理念の普及)</div> <div>○人権尊重の教育・啓発、ノーマライゼーションの理念の普及</div> <div>(生活困窮者への自立支援)</div> <div>○ホームレスを含む生活困窮者が抱える複合的な課題に対する包括的な支援を計画的に推進</div> <div>(外国人への対応)</div> <div>○子どもへの学習機会の提供、医療通訳や情報提供の充実</div> <div>(矯正施設からの退所者に対する支援)</div> <div>○福祉的支援が必要な矯正施設からの退所者に対する支援の充実</div> <div>(安心して暮らせる環境の整備)</div> <div>○暮らしやすい住まいの確保、施設や歩行空間のバリアフリー化の推進</div>	<div>(人権意識の高揚、ノーマライゼーションの理念の普及)</div> <div>◆あらゆる場における人権教育・啓発の推進、適切な隣保館の活用、子どもの頃からの交流・ボランティア活動による社会福祉に貢献する心の育成</div> <div>(生活困窮者への自立支援)</div> <div>◆自立相談支援事業や住居確保給付金事業の実施、一時生活支援事業などの任意事業の推進</div> <div>(外国人への対応)</div> <div>◆外国人の子どもへの日本語学習支援、「あいち医療通訳システム」の充実、救急搬送における多言語対応等の検討</div> <div>(矯正施設からの退所者に対する支援)</div> <div>◆地域生活定着支援センターでの矯正施設入所中から退所後まで一貫した相談支援の実施</div> <div>(安心して暮らせる環境の整備)</div> <div>◆生活支援サービス付き高齢者向け賃貸住宅の供給促進、不特定多数が利用する施設や生活関連施設を結ぶ道路のバリアフリー化の推進</div>
<div>2. ともに支え合う地域づくり</div> <div>○福祉ニーズの多様化の反面、家庭内・地域内の支援の力は低下し、顕在化する生活課題をすべて公的サービスで賄うことは困難</div> <div>○制度の狭間に置かれ、必要な支援が受けられないケースの存在</div> <div>○地域包括ケアの考え方を全世代・全対象に拡大し、分野を問わない包括的な相談支援やサービス提供体制の検討が必要</div> <div>○地域では、地域住民参加のもと互助・共助を中心としたともに支え合う地域づくりを進めることが重要</div>	<div>(地域で支え合うネットワークの構築)</div> <div>○包括的な相談支援・サービス提供体制については、厚労省で検討されている「全世代・全対象型地域包括支援体制」の動向を踏まえながら検討</div> <div>○行政だけでなく、住民やボランティア、NPO、企業など多様な主体が連携・協働し、多世代が交流して互いに支え合う地域づくり（場づくり）を多層・多重ネットワークで構築する取組を推進</div> <div>(福祉サービスの利用しやすい仕組みと適切な運営の確保)</div> <div>○福祉サービスの選択・利用を支援する仕組みの充実、福祉サービスの事業者等に対する適切な指導等の実施</div> <div>(災害時要配慮者支援体制の整備)</div> <div>○大規模災害時における福祉人材の派遣や被災した要配慮者の受入などの広域支援体制の構築、市町村内における要配慮者の把握や福祉避難所の指定など支援体制の整備の推進</div>	<div>(地域で支え合うネットワークの構築)</div> <div>◆地域包括ケアシステムを県内全域で構築するためモデル事業の実施</div> <div>◆「全世代・全対象型地域包括支援体制」の検討</div> <div>◆市町村地域福祉計画の策定・改定の推進</div> <div>◆県社協への支援、民生委員・児童委員への研修・資質向上</div> <div>(福祉サービスの利用しやすい仕組みと適切な運営の確保)</div> <div>◆県社協が実施する日常生活自立支援事業、福祉サービス適正化委員会、第三者評価推進事業への支援、法人や施設等への適切な指導監督</div> <div>(災害時要配慮者支援体制の整備)</div> <div>◆災害派遣福祉チーム（DCAT）の派遣体制及び被災要配慮者の受入体制の構築</div>
<div>3. 地域を支える人材の育成</div> <div>○医療従事者や福祉人材といった専門職だけでなく、地域の支え合いを担う人材も不足の懸念</div> <div>○支え合いの担い手となる地域の人々の育成、地域で支え合うネットワークづくりを促進するため生活支援をコーディネートする人材の育成・確保も必要</div>	<div>(地域を支える人材の育成・元気な高齢者の地域活動への参加促進)</div> <div>○インフォーマルサービスの役割・機能について地域住民への理解促進</div> <div>○元気な高齢者が介護保険の地域支援事業や地域活動の担い手として参加できる具体的な活動への参加の機会を提供</div> <div>(地域・生活支援人材の育成・確保)</div> <div>○地域の社会資源を把握し、サービスを必要とする人を早期発見・早期支援につなぐ地域の相談支援活動を行う人材の育成</div>	<div>(地域を支える人材の育成・元気な高齢者の地域活動への参加促進)</div> <div>◆地域福祉に関する講演会など学習機会の提供について検討</div> <div>◆社会活動への参加を希望する高齢者と活動団体のマッチングの推進</div> <div>(地域・生活支援人材の育成・確保)</div> <div>◆生活支援コーディネーター、生活困窮者主任相談支援員、コミュニティーソーシャルワーカー等の連携やネットワークづくりを促進するための合同研修会の実施などの検討</div>